



小国中だより

小国町立小国中学校
令和2年5月19日
文責 八木幸夫

再スタート 頑張ろう小国中

5月18日（月）、臨時休業中の学年別登校を経てようやく令和2年度の再スタートを切ることができました。生徒玄関上部の窓には「再スタート 頑張ろう小国中」の激励メッセージも張り出され、気持ちも新たに学校生活が始まりました。感染予防に全校生、全職員で取り組みながら「人間力を身につけ 小国を元気にする小国中生」を目指し、努力して参ります

5月19日（火） 全校集会あいさつ

校長 八木幸夫

4月7日の入学式から1ヶ月以上を経過してようやく学校生活が再スタートしました。「おはようございます。」と元気なあいさつで登校してくる姿、笑顔があふれる教室の様子を目にすると、うれしさがこみ上げてきます。全国的には、まだ学校が再開されていない都府県もあります。まずは、小国中学校の新たなスタートを喜びたいと思います。

この臨時休業中は、週1回程度の登校日はあったものの、外出を控えながら、家庭学習を中心にした生活となりました。大きく体調を崩した人もなく、大きな事故やトラブルの報告もありませんでした。小国中生一人ひとりが、新型コロナウイルス感染防止に取り組む意識を持ちながら自覚ある生活をおくってくれたことを感謝します。

学校生活はおよそ1ヶ月半、スタートが遅れました。また、新型コロナウイルスの感染防止のために、まだまだ従来通りの学校生活を取り戻すことはできません。今後、学校運営計画の大幅な見直しを図りながら学校での活動を進めていく必要があります。新型コロナウイルスに感染する危険性を避けながら学校運営を進めていくためには、皆さんに、学校生活の中で我慢してもらわなくてはならないことが多く出てくると思います。これまでやる必要のなかったことをやらなければならなかったり、当たり前前やっていたことがやれなかったりすることが多く出てくると思います。生活や学習の上での約束、学校行事、部活動などに多くの制約が求められると思いますが、今の厳しい社会環境を踏まえて協力して欲しいと思います。

さらに、新型コロナウイルス感染防止には、登校前の検温、手洗い、手指の消毒の励行、ソーシャルディスタンスの確保、マスク着用、咳エチケット等を習慣化することが大切です。感染防止、感染の拡大防止のために、一人ひとりの衛生管理に対するモラルが求められています。感染防止のために、やらなければならないことを必ずやる。やってはならないことは決してしてはなりません。小国中生一人ひとりが強い意志で取り組んで欲しいと思います。

また、私達の生活は感染の危険性と隣り合わせの環境で仕事をしている医療従事者の皆さん、地域の枠を越えて物流に従事するトラック運転手の皆さんなど、厳しい社会環境でも勇気と使命感を持って仕事に取り組んでくださっている皆さんに支えられています。感謝の気持ちを忘れてはなりません。こんな厳しい社会環境だからこそ、互いの努力に感謝する「ありがとう。」という言葉大切にしたいものです。「おはようございます。」「こんにちは。」のあいさつの言葉とともに、小国中生のあいさつの力で地域を、家庭を元気にしてくれることを期待します。

新入生歓迎会・部活動紹介



5月15日（金）新入生歓迎会が行われ、本校伝統の生徒会活動の紹介や部活動紹介などが行われました。例年、部活動紹介では各部工夫を凝らしたパフォーマンスを行い新入生の勧誘を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のために、各部ともパフォーマンスを自粛し、ユニフォーム姿でのPRという形で実施されました。部活動は時間を短縮しながら5月25日（月）から実施の予定です。1年生は、1週間の見学体験期間を経て入部の予定です。

令和2年度生徒会スローガン決定

自主・自律 ～仲間とともに～

5月15日（金）、生徒会執行部から、生徒総会に先立って今年度の生徒会スローガン提案され、満場一致で承認されました。仲間との絆を大切にしながら、「自分達の課題は自分達の手で」という本校の自治活動の伝統がシンプルな言葉で表現されたスローガンとなりました。何事にも自ら進んで取り組み、挑戦し、互いを高め合う小国中生の姿を期待したいと思います。

